

# 物 品 等 入 札 約 款

## (目的)

第1条 東金市外三市町清掃組合の発注に係る物品の購入、製造及び印刷の請負に係る競争入札を行う場合における入札その他の取り扱いについては地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）及び東金市外三町清掃組合財務規則（平成15年規則第1号）その他の法令に定めるもののほか、この入札約款の定めるところによるものとする。

## (入札等)

第2条 入札参加者は、仕様書、見本物品、契約書案及び現場説明書等を熟覧の上、入札しなければならない。この場合において仕様書、見本物品、契約書案及び現場説明書等について疑義があるときは関係職員の説明を求めることができる。

- 2 入札書は、物品の購入、製造及び印刷の請負にあつては、別記第1号様式の1により、又車両の購入及び物品（車両含む。）の交換にあつては、別記第1号様式の2により作成し、封かんの上、入札者の氏名、商号又は名称を表記し、通知書に示した日時、場所において入札箱に投入しなければならない。
- 3 入札参加者は、代理人をして入札させるときは、別記第2号様式による委任状を持参させなければならない。
- 4 入札参加者又はその代理人は、入札の前に別記第3号様式による誓約書を提出しなければならない。
- 5 入札参加者又はその代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。
- 6 入札参加者は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項の規定に該当する者を入札代理人とすることはできない。
- 7 入札参加者は入札書を提出したことによって東金市外三市町清掃組合暴力団排除条例第7条2項に基づき千葉県警察本部への照会することに同意したものとみなす。

## (入札の辞退)

第3条 指名を受けた者は、入札執行の完了に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。

- 2 指名を受けた者が入札を辞退するときは、その旨を次の各号に掲げるところにより申し出るものとする。
  - (1) 入札執行前にあつては、別記第4号様式による入札辞退届を契約担当者に直接持参し、又は郵送（入札日の前日までに到達するものに限る。）して行う。
  - (2) 入札執行中にあつては、入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する者に直接提出して行う。
- 3 入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けることはない。

(未入札)

第4条 指名を受けた者が、入札開始日時までに入札書又は入札執行の完了に至るまでに辞退届の提出を行わなかった場合は、未入札として取り扱うものとする。

(入札の取りやめ等)

第5条 入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることができる。

2 入札参加者が1人である場合は、特別な事情がない限り入札を取りやめるものとする。

(無効となる入札)

第6条 次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 入札に参加する資格を有しない者のした入札
- (2) 委任状を持参しない代理人のした入札
- (3) 所定の入札保証金を納付しない者のした入札（免除の場合を除く）
- (4) 入札書の記名押印を欠く入札
- (5) 入札書の金額を訂正した入札
- (6) 入札書の誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- (7) 明らかに連合であると認められる入札
- (8) 同一事項の入札について他人の代理人を兼ね、又は2人以上の代理をした者の入札
- (9) 入札金額内訳書を提出することが条件の入札の場合において、入札金額内訳書の提出がない又は入札金額内訳書に重大な不備のある者のした入札
- (10) その他入札に関する条件に違反した入札

(落札者の決定)

第7条 物品の購入に係る入札においては、入札を行った者のうち、予定価格の範囲内で最低の価格を持って入札した者を落札者とし、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10を加算した金額を落札価格とする。

2 製造の請負に係る入札においては、最低制限価格を設けている場合は、入札を行った者のうち、予定価格及び最低制限価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者とし、最低制限価格を設けていない場合は、予定価格の範囲内で最低価格をもって入札した者を落札者とする。入札書に記載された金額に当該金額の100分の10を加算した金額を落札価格とする。

3 車両の購入及び物品（車両も含む。）の交換による購入に係る入札においては、入札を行った者のうち予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者として、入札書に記載された金額を落札価格とする。

(同価格の入札者が2人以上ある場合の落札者の決定)

第8条 落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札をした者にくじを引かせ落札者を決定する。

2 前項の場合において、当該入札をした者のうちくじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない職員にくじを引かせる。

(再度入札)

第9条 開札をした場合において、各人の入札のうち予定価格の範囲内の価格の入札をした者がいないときは、直ちに再度の入札を行う。

2 前項の場合において、再度入札の回数は原則として2回までとする。

3 再度入札に参加できる者は、当該再度入札の前の入札に参加した者とする。ただし、当該再度入札の前の入札が無効になった者は、再度入札に参加できないものとする。

(契約の締結)

第10条 落札者は、落札決定の日から7日以内に契約を締結しなければならない。

(異議の申立)

第11条 入札をした者は、入札後、この約款、仕様書、見本物品、契約書案及び現場説明書等についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(その他)

第12条 契約担当者は、必要があるときは、入札参加者から入札金額見積書の提出を求めることができる。

附 則

この約款は、平成6年4月11日から施行する。

附 則

この約款は、平成18年3月27日から施行する。

附 則

この約款は、平成23年7月13日から施行する。

附 則

この約款は、平成26年3月12日から施行する。

附 則

この約款は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この約款は、令和元年10月1日から施行する。